

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和5年度病害虫発生予察防除情報第2号

茶 クワシロカイガラムシの防除対策について

本虫の第1世代のふ化盛期が例年に比べ早くなっています。下記の点を参考にして適期防除をお願いします。

各圃場における発生状況に注意するとともに、今後の予測は当所のホームページで随時更新しますので参考にしてください。

記

1. 発生状況等

(1) 4月前期の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は3.0%(平年 3.4%)、発生圃場率は13.3%(平年 38.0%)であり、一部多発圃場が見られた。

(2) 本虫第1世代のふ化盛期は、下表のとおり平年より早いと予測される。

表 第1世代のふ化盛期予測日(4月18日時点)

地区名	標高(m)	令和5年	令和4年	令和3年	平年 (過去10か年)
東彼杵町太の原	360	5/8	5/11	5/10	5/18
五島市上大津	77	5/1	5/7	4/24	5/6

注1) 予測日は「有効積算温度則による防除適期予測法(農林技術開発センター茶業研究室)」により、東彼杵町太の原(農林技術開発センター茶業研究室による測定値)、五島市上大津(アメダスデータ)で予測した。なお、4月18日以降のデータは平年値を用いた。

注2) 今後、気温が高くなるとふ化盛期が早まる可能性があるので注意する。

注3) 東彼杵町太の原については、一部停電による欠測(3月10日16:00~11日11:00および3月27日8:00~28日13:00)があるため、欠測部分は平年値を用いた。

2. 防除対策

(1) ふ化後の幼虫が1回脱皮してロウ質のカイガラを作りはじめると、薬剤の効果が低下するので、ふ化盛期(50%ふ化卵塊雌率が半数となった日)~ふ化盛期5日後までに防除する。現地ではふ化状況を調査している場合は、その調査に基づいて防除時期を判断する。なお、同一地区内の圃場でも標高や土地条件により気温が異なると、ふ化盛期が前後する場合がありますので注意する。

(2) 株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。

(3) 収穫中の圃場では、収穫終了後に防除を実施する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス: <http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

(長崎県病害虫防除所) TEL: 0957-26-0027

